



LWB-24(A) / LWB-72(A)ファームウェア Ver.3.1.1 リリース・ノート

オタリテック株式会社

2023年12月8日

LWB-24(A)/LWB-72(A)*ファームウェア Ver.3.1.1*をリリースいたしました。Ver.3.1.0からの主な変更内容は以下の通りです。特に記載のない場合、“修正された不具合”はファームウェア Ver.3.1.0以前の全バージョンにて発生します(ただし、不具合に関連する機能が搭載されていないバージョンを除く)。

また、レガシー・モジュール(レガシーMADIモジュールのようにも記載しています)とは、LWB-16/64用モジュールをLWB-24/72でも使用できるようにアップデートしたモジュールを指します。

LWB-24(A)/72(A)* LWB-24/72は非同期ビデオ出力非対応機、LWB-24A/LWB-72Aは非同期ビデオ出力対応機となります。
Ver.3.1.1* LWB-24A/72AのバージョンはLWB-24/72のバージョンから2.0.0を引いたバージョンとなります(LWB-24/72でVer.3.1.1の場合、LWB-24A/72AではVer.1.1.1)。本書内のバージョン表記は全てLWB-24/72のものとなりますのでご注意ください。

【重要】

- ・ LWB-24/72ファームウェア Ver.2.x.xからVer.3.x.xへのバージョンアップはメインFPGAのバージョンアップ(Extended Editionの場合、Ver. G, Standard Editionの場合 Ver. F)(以降)とセットで行う必要があります。
- ・ 同Ver.3.x.xにバージョンアップをすると、LWB-24A/72A*(ファームウェア Ver.1.x.x)との接続が可能になります。
- ・ 同Ver.3.x.xは同Ver.2.x.x(以前)とは互換性が無く、接続する全てのLWB-24/72はVer.3.x.xでなければなりません。
- ・ 同Ver.3.x.xはLwcV3 Ver.1.3.x(以前)と接続できません。LwcV3 Ver.1.4.0(以降)をご利用ください。
- ・ 同Ver.2.x.x(以前)から同Ver.3.x.xにバージョンアップをすると、パラメーターの値が変更または初期化されることがあります。

1. 修正された不具合

1-1 ボックスが1台も接続されていないCOMM.モジュールが装着されているLWB本体を再起動したとき、同LWB内の他のCOMM.モジュールに接続されているコメントリー・ボックスのルーティングが消失する(復元されない)

備考: 当該不具合はLWBファームウェア Ver.3.0.0, Ver.3.1.0でのみ発生します。

1-2 LwcV3(Ver.1.4.0)の「出力表示からマイク制御をする」機能を使用して、複数のマイク・チャンネルに対してパラメーターを設定していると、I/Oタブ等に表示されているパラメーター値がリロードされ設定が中断される場合がある

備考: 当該不具合は、LWB本体の操作によりパラメーターが変更された場合に変更後の値をLwcV3に反映する機能の誤動作によるもので、LWBファームウェア Ver.3.1.0でのみ発生します。また、この不具合を解消するにはLwcV3もVer.1.4.1にバージョンアップする必要があります。

1-3 LWBユニット内の複数のレガシー・モジュールに同じルーティング No.を設定した出力チャンネルがあるとき、この出力チャンネルをマルチチャンネル・ルーティングすると生じる以下の不具合

- ・ 上記の出力チャンネル全てまたは一部のルーティングをマルチチャンネル・ルーティングにて再設定すると、同じルーティング No.が設定されていたチャンネルを含むモジュール内のルーティングが正しく設定されない。
- ・ 上記出力チャンネルの内1つのルーティングをマルチチャンネル・ルーティングにて削除すると、その後、レガシー・モジュール・チャンネルのルーティングが正しく設定されない。

1-4 ディレイ・モジュールのディレイ・タイム変更中に操作がタイムアウトした場合、その後、ディレイ・タイムは変更前の値が表示されるが、実際にはタイムアウトした時点の変更後の設定が保持されている

備考: LWBファームウェア Ver.3.1.1では、タイムアウトした場合、実際の設定も変更前の値に戻ります。

1-5 レガシーMADIモジュールの出力チャンネルからマイク・リモート・モードに移行したとき、MULTIキーを押してもMADI出力チャンネルを選択した状態に戻らない

備考: LWBファームウェア Ver.3.1.0(以前)においても、ERR./ESC.キーを押すなどしてマイク・リモート・モードから抜けることは可能です。

1-6 ルーティング・グループ No. 12を上限の9つのチャンネルに設定してあるとき、ルーティング・グループ No.選択時にエンコーダーを反時計回りに回すと、'1'の次には'-'が表示され、それ以上変わらない('11', '10'...と表示されない)

以上